



# CADCity Ver8 機能アップ項目

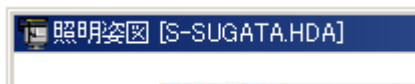
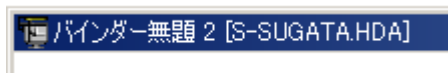


## 第 1 章 基本部

1 - 1

## タイトルバーの表示

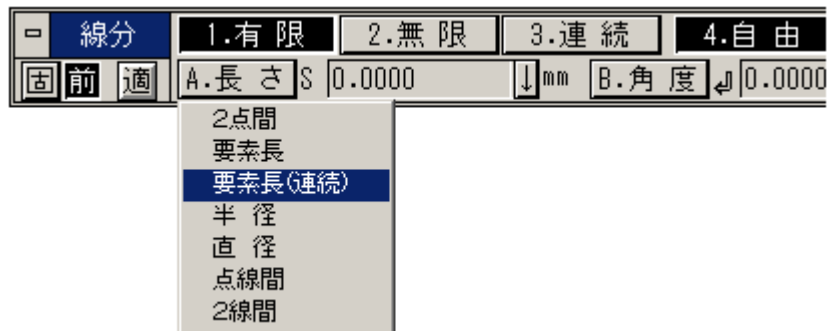
既存図面から1枚の図面だけを開いた場合、ウィンドウタイトルバーでバインダー名称の表示をやめて、タイトルを表示するように変更しました。



## 1 - 2

## CSBの計測参照機能

CSBの長さ系の参照機能でに[要素長(連続)]を追加しました。  
要素を複数指定し、その合計長を長さとして取り込むことが可能です。  
対象となる要素は線分、円、円弧、楕円、楕円弧、スプラインです。  
離れている要素を指定することも可能です。



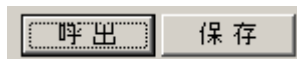
## 操作

1. 要素長(連続)を選択
2. 要素を指定(複数要素指定可能)
3. 指定の終了はマウス右クリック
4. 計測値をCSBに取り込みます。

## 1 - 3

## 線スタイル

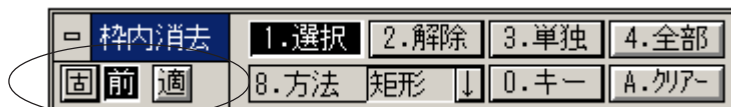
線スタイルに名称をつけて保存と呼出ができるようにしました。  
保存したファイルの拡張子は\*\*\*.ini です。



1 - 4

## 枠選択 CSB

枠選択 CSB に、一般コマンドと同様な[前回値][固定値]のボタンを追加しました。  
また、枠選択で始点・終点の端交点検出をするしないの設定を補助/システム設定/検出に追加しました。



補助/システム設定/検出

選択CSB

枠選択時、点検出する

1 - 5

## 検出ツールバー

検出ツールバーに端点 / 中点 / 交点 / 中点 / 4分点を新たに追加しました。  
また、画面下のメッセージ欄に検出モードを表示するエリアを追加しました。



新規追加部分

端点 / 中点 / 交点 / 中点 / 4分点のみを検出するアイコンです。  
例えば端点ボタンを指定した場合、端点しか検出できません。

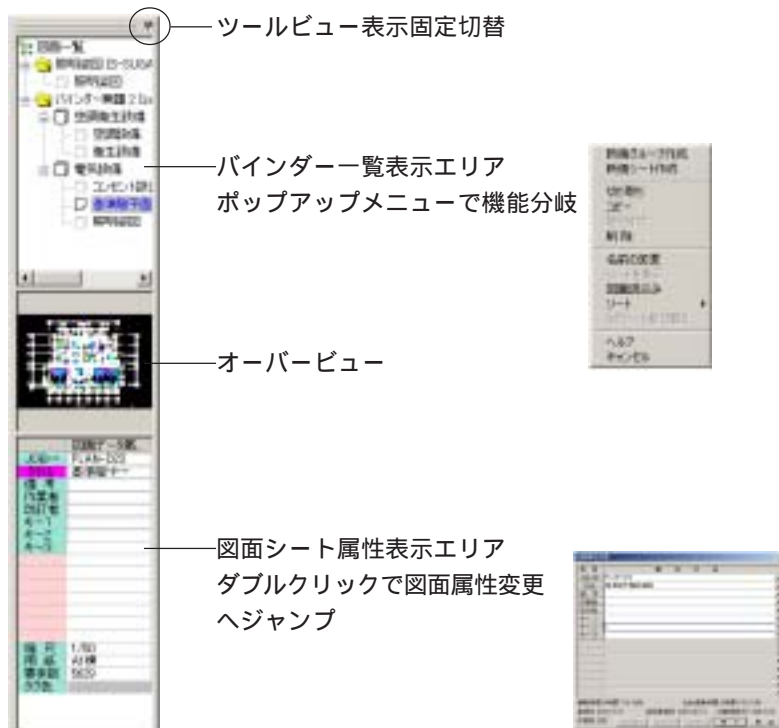
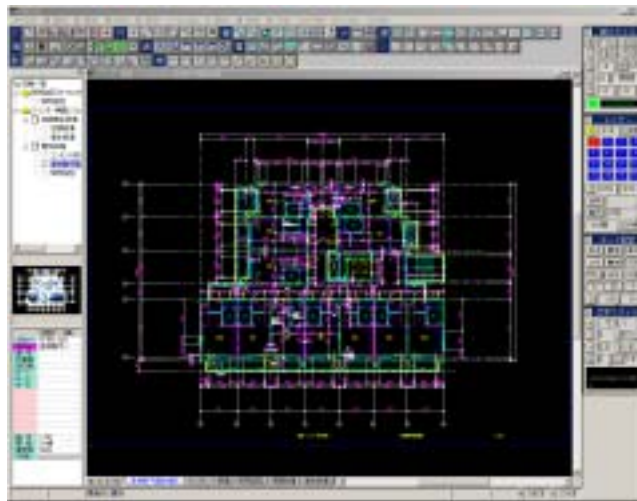


画面下のメッセージ欄に検出モードを表示するエリアを追加しました。

1 - 6

ツールビュー

バインダーで複数の図面シートを扱う際に、より使いやすくするために、ツールビュー機能を搭載しました。ツールビュー型と従来のバインダー編集型の切り替えは補助 / システム設定 / バインダーで行います。  
また、フォルダグループにコメントを入力できるようになりました。







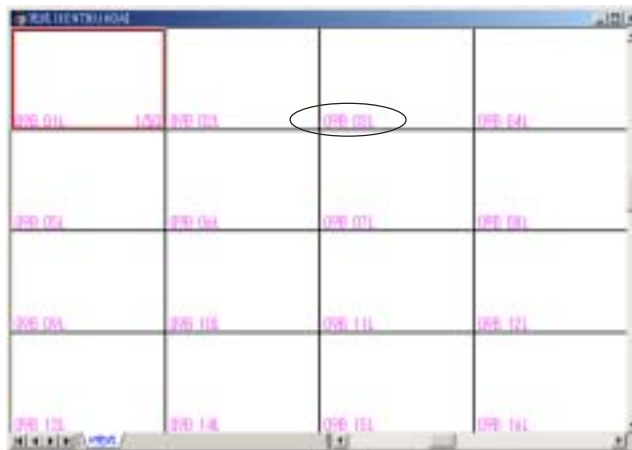
グループフォルダにフォーカスを当て、この部分をダブルクリックすると、上図のコメント入力ダイアログボックスが開く。

1 - 7

# レイヤー分解

レイヤー分解時のレイヤー名称部の背景を抜いて見やすくしました。  
 また、レイヤ分解時・レイヤーパターン登録の表記を数値B数値Lに統一しました。

レイヤー表記の変更例



パターン登録の名称統一例



レイヤーパターン登録				
全	1B	2B	3B	4B
1L	1	1	1	1
2L	2	2	2	2
3L	3	3	3	3

1 - 8

図面属性

図面属性入力ダイアログボックスを拡張しました。新規図面や部品関連などの共通拡張・追加項目です。追加項目の定義はシステム設定の「標準図面」で行います。

JOB.NO、タイトル、備考、作業者で入力できる文字数を拡張しました。

キー1～3は従来のみです。

キー4～10としてユーザー定義属性を増やしました。図面属性を参照してください。旧バージョンで読み込み、上書きも可能です。

JOB.NO	全角 15 文字 (半角 31 文字)
タイトル	全角 127 文字 (半角 255 文字) 拡張
備考	全角 127 文字 (半角 255 文字) 拡張
作業者	全角 127 文字 (半角 255 文字) 拡張
改定者	全角 127 文字 (半角 255 文字) 拡張
キー 1 ~ 3	全角 15 文字 (半角 31 文字)
キー 4 ~ 10	無制限 新規追加

【新規図面の例】



【部品属性の例】



【図面属性変更の例】

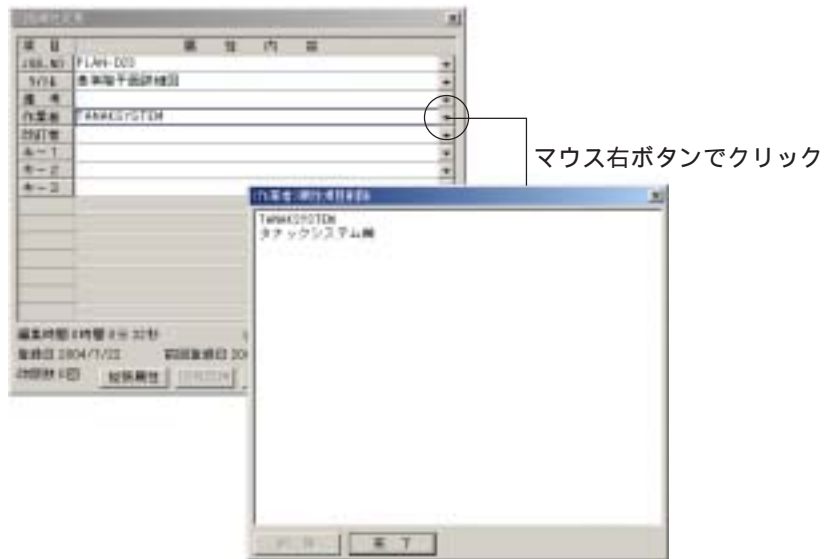


- ・ユーザー属性定義として入力できる文字数は無制限です。
- ・任意の文字列にハイパーリンクを設定することができます。
- ・ユーザー定義属性は、図面単位で保持されます。

図面属性として入力した文字列は、履歴として保存されます。

をマウス右ボタンでクリックすると履歴削除用のダイアログボックスが開きます。

旧バージョンで共有化されていた入力履歴は、バインダー、図面、部品毎に保持されます。



1 - 9

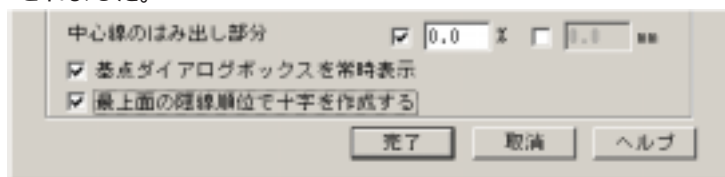
# 隠線順位付加

作図コマンドの中心線（円・長方形の中心線も含む）や注釈、バルーン、寸法コマンドに最上位の順位を指定できるようにしました。

作図系コマンドに隠線最上位を付加することにより、隠線パーツ上に作図された中心線や寸法要素も表示できるようになります。

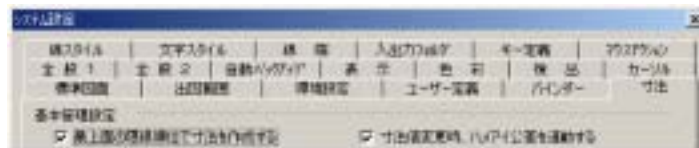
### 【中心線やバルーンなど】

各コマンドの設定ダイアログボックスに、下図のようなチェック項目が追加されました。



### 【寸法コマンド】

システム設定の「寸法」タグにより設定します。



1 - 10

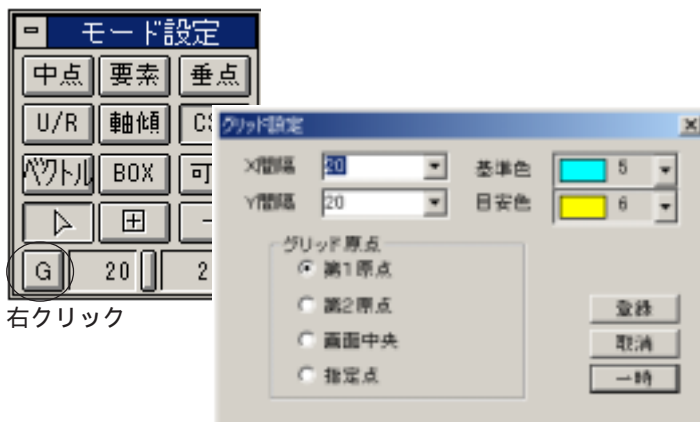
## 右パネル

右パネルの機能を拡張しました。

右パネルのタイトル部を右クリックすると「ヘルプ」を選択することができるようになりました。



モード設定の[G]で表示されているグリッド設定をキー定義できるようにしました。グリッド設定もダイレクトキーで操作できるようになります。



右クリック



## 第2章 ファイル

## 2 - 1

## 新規（名変）保存

新規（名変）保存のダイアログボックスを拡張しました。  
また、プルダウンメニューのコマンドの位置も変更しました。

バインダーや図面属性にJOB.NOやタイトルが入力されている場合、直接参照してファイル名に取り込むことが可能となりました。



新規（名変）保存コマンドの中で、CADCityの全ての拡張子へ保存できるようになりました。これに伴いプルダウンメニューの位置が変更になりました。



複数のシートを含むHDDファイルを新規（名変）保存した場合は、拡張子を選択することはできません。

1枚のシートしかないHDDファイルの場合は、拡張子や名前を変更して保存することができます。





2 - 2

# バインダー属性変更

管理NO. と名称の順序入れ替え、入力できる文字数を増やしました。  
 バインダー属性にはユーザー定義属性の追加はありません。

【ファイル/ バインダー属性】

- 管理No.      全角15文字(半角31文字)
- 名称         全角127文字(半角255文字) 拡張
- 備考         全角127文字(半角255文字) 拡張
- 作業者      全角127文字(半角255文字) 拡張
- 改訂者      全角127文字(半角255文字) 拡張
- キー1~3     全角15文字(半角31文字)

項目	属性内容
管理No.	
名称	バインダー属性1
備考	
作業者	
改訂者	
キー1	
キー2	
キー3	

編集時間 0時間 30分 39秒      合計編集時間 0時間 30分 39秒  
 登録日 2004/7/22      前回登録日 2004/7/22      初版登録日 2004/7/22  
 改版数 0回

完了      取消

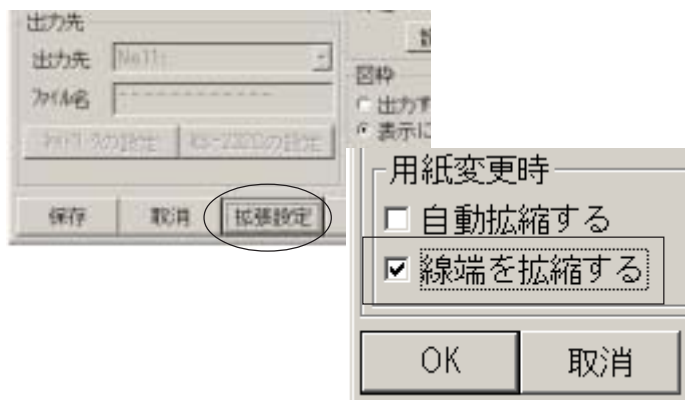
## 2 - 3

## 出図 / PDF ・ TIFF ・ XCD A 出力

出図コマンドの各種機能を拡張しました。

線端のサイズを連続出力のように用紙サイズにより、自動的にサイズ変更する機能を追加しました。

出図 / 環境設定 / 拡張設定のダイアログボックスで指定します。



ユーザー定義色をを他のユーザー定義色で出図できるようにしました。出図の色設定から、変更したい色のボックスをマウス右ボタンでクリックします。色彩の一覧が表示されますので、出力色に指定したい色をクリックします。



出図

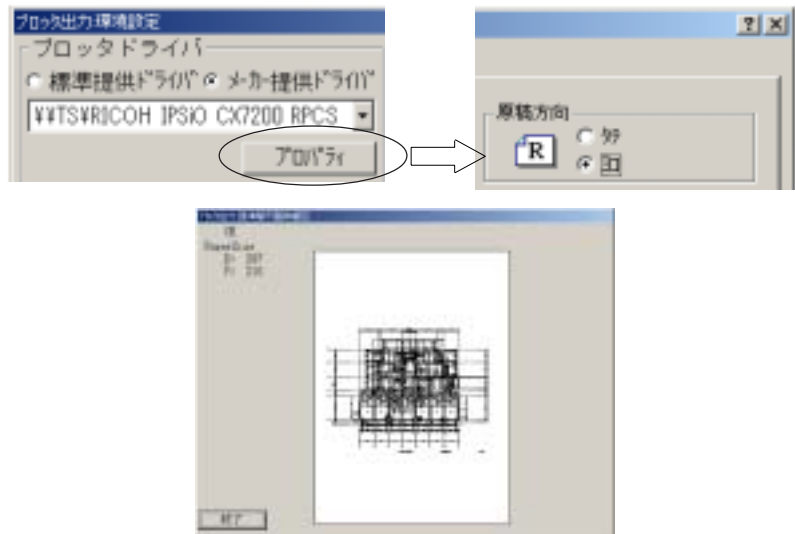
DAゴシックをHP-GL2で出力する際に、文字の太さを別に設定できるようにしました。ペン番号のダイアログボックスを開き[DAゴシック]により、変更します。[表示]の部分をクリックすると、一覧が表示されます。



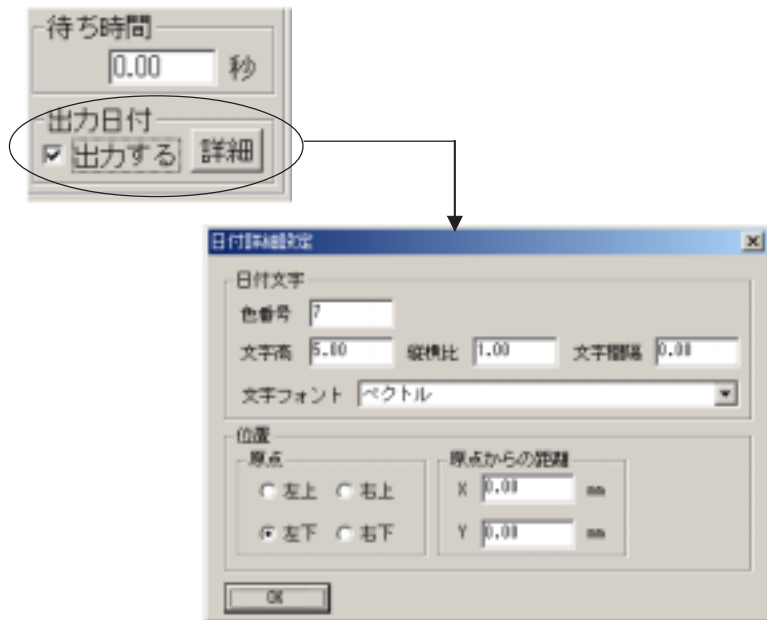
上方四角の線端の上部の線幅を個別に指定する機能を追加しました。



メーカードライバのプロパティで、用紙縦横方向を設定した場合、出図プレビューに連動させました。



図面の所定の位置に出力した日付を印字する機能を追加しました。  
環境設定 / 拡張設定から出力日付のチェックをオンにします。



出図データをファイル出力する際に、保存先のダイアログボックスを表示し、指定できるようにしました。



ラスター上に塗潰し図形を作図した場合、「通常要素、塗潰し」と「ラスター」の出力順の切り替えスイッチをつけました。



## PDF/TIFF/XCDF 出力

図面データを、PDF ファイルまたはTIFF ファイル、もしくはXCDF ファイルに出力します。

### IMGPrinter

この機能は、本システムが提供する印刷ドライバ(IMGPrinter アイエムジープリンタ)として機能し、出図のダイアログボックスから専用のドライバを指定することにより出力します。このため、他の外部出力のようなコマンドではなく、出図コマンドから出力します。

操作の詳細はオンラインマニュアルを参照してください。

### 注意・制限事項

本システムに付属のPDF/TIFF/XCDF 出力ドライバーは、本システムで出図する場合にのみ機能し、以外のアプリケーションから指定しても出力はできません。

また、本バージョンでは、IMGPrinter がインストールできる OS はNT 系 (Windows2000/XP)のみとなります。WindowsME など98系のOSにはインストールできませんのでご注意ください。

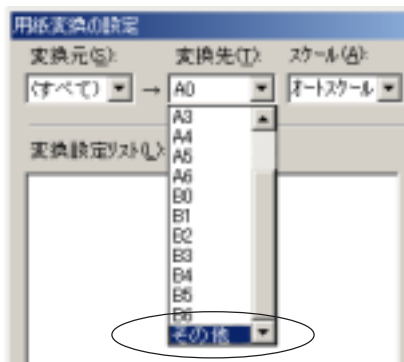
なお、本バージョンは、連続出力には未対応です。

## 2 - 4

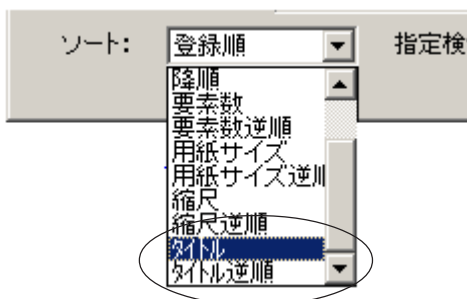
## 連続出力

連続出力コマンドの各種機能を拡張しました。

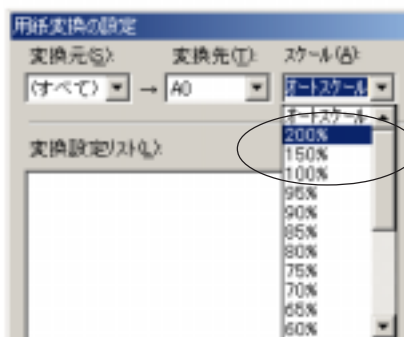
変換先の用紙サイズに「その他」を追加しました。変換元がその他の場合、用紙との整合性を自動的にとります。



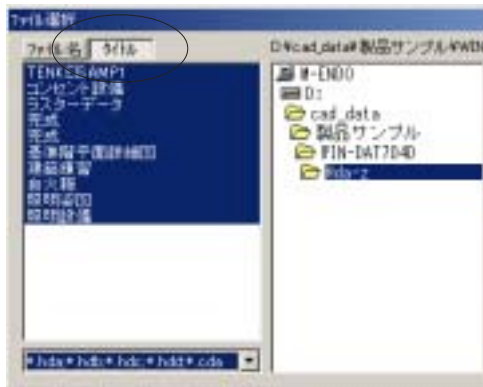
連続出力のソート機能にタイトルでソートする機能を追加しました。また、選択した設定を次回自動時にも有効になるようにしました。



従来版は用紙サイズを変更して出力する場合は、すべてオートスケールでしたが、今バージョンからオートスケール以外に「元の縮尺を%で指定できる出力設定」を追加しました。



ファイル選択の際、タイトルで選択できるようにしました。



オプション設定にある用紙によって「線端を拡張する」設定を全ての線端に適用しました。



## 2 - 5

## 一括入力 / 出力

一括入力 / 出力に SXF フォーマットの p21 ファイル形式を追加しました。





## 2 - 6

## DXF/DWG 入出力

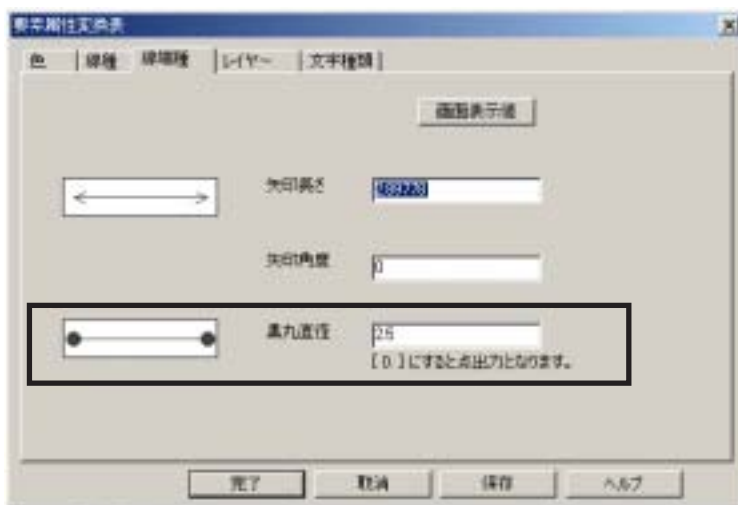
変換時にレイヤーのオン・オフに対応しました。  
 出力時にレイヤーオフの要素を出力しない設定を追加しました。  
 寸法をイメージで出力する際、グループ化して出力するようにしました。  
 AutoCAD2004形式のデータフォーマットに対応しました。  
 ハッチングデータグループ化して入力するように改造しました。



2 - 7

## JWC 出力

寸法線端の黒丸を点で出力できる設定を追加しました。



2 - 8

SXF 入力

ラスターデータの読み込みが可能となりました。

1枚のみ



## 第3章 編集

3 - 1

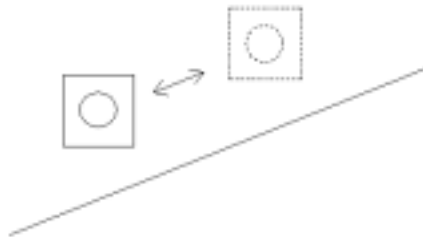
複写

要素上に沿って複写する[要素配置]ボタンを追加しました。法面配置はありません。

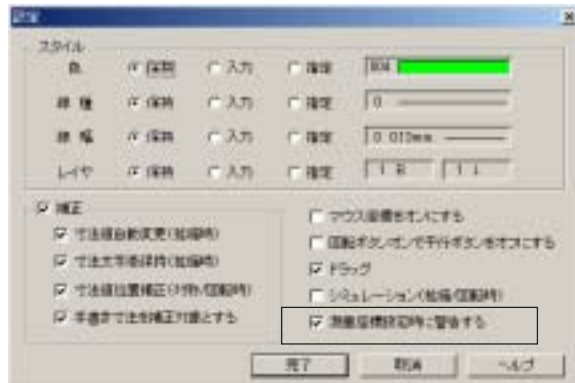


8.要素配置

複写要素を指定後、原点・要素・通過点を指定し、指定した要素に沿って複写を実行します。



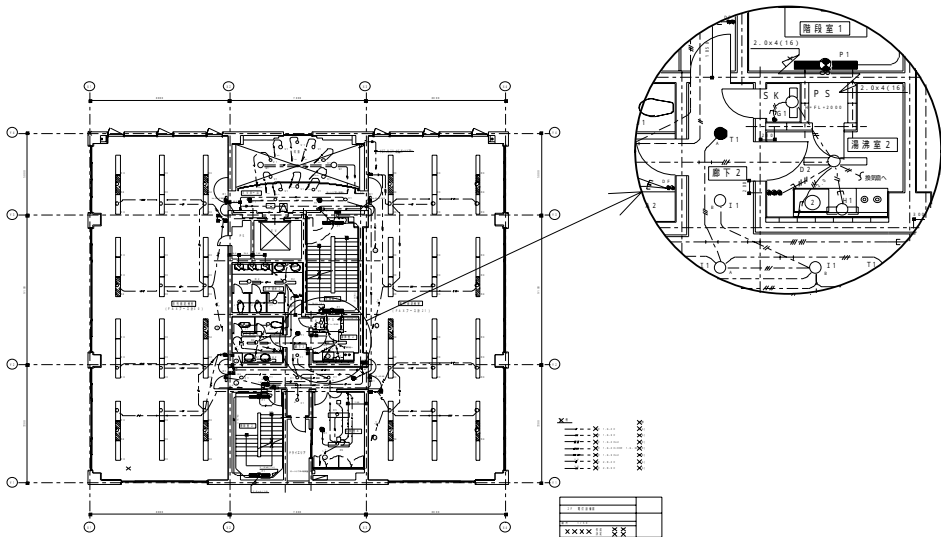
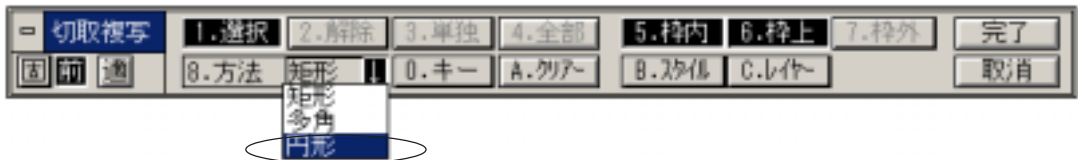
設定に[測量座標時に警告する]のチェック項目を追加しました。これは土木コマンド使用時に影響するものなので、CADCityの場合警告ダイアログボックスが表示されることはありません。



## 3 - 2

## 切取複写

切取複写コマンドの枠選択方法に「円形」が追加されました。  
円形で任意の要素を切取り、複写することができます。



## 3 - 3

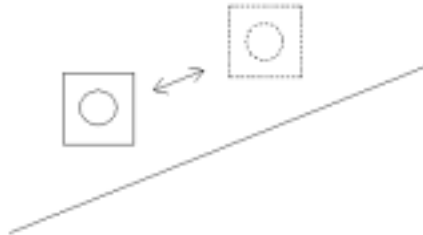
## 移動

要素上に沿って移動する[要素配置]ボタンを追加しました。法面配置はありません。

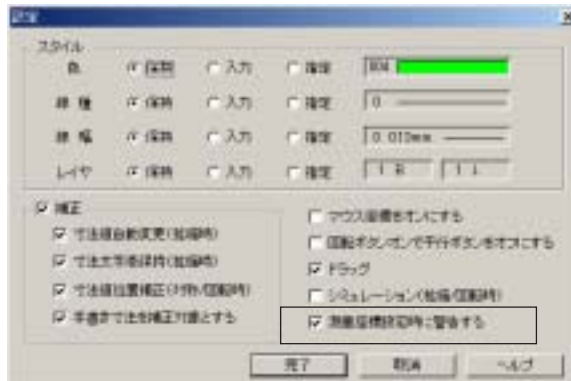


## 7.要素配置

移動要素を指定後、原点・要素・通過点を指定し、指定した要素に沿って移動を実行します。



設定に[測量座標時に警告する]のチェック項目を追加しました。これは土木コマンド使用時に影響するものなので、CADCityの場合警告ダイアログボックスが表示されることはありません。



3 - 4

## 重複線消去

同一グループ内の重複線、およびBスプラインが完全に一致する場合、重複線処理の対象としました。



## 3 - 5

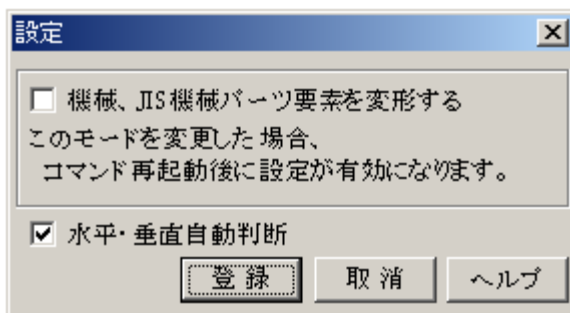
## 変形

平行寸法と同様に「自動モード」を追加し、垂直と水平をボタン切り替え無しに自由に変形できるようにしました。



## B. 設定

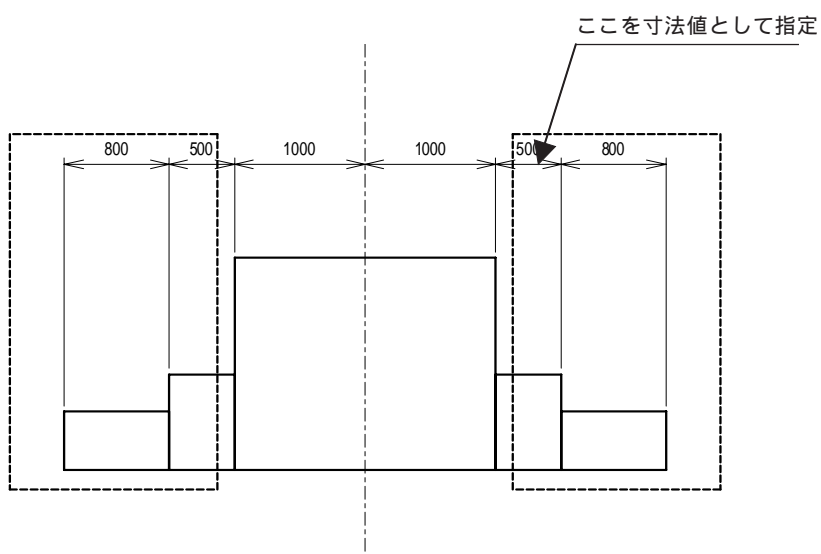
以下のチェックをつけることでCSBのボタン(1.2)が変わります。  
チェックをつけると上図のように「1. 自動」となりますが、チェックをはずすと従来通り「1. 水平」「2. 垂直」となります。



## 3 - 6

## 均等変形

任意の位置の寸法値を、指定した値に変形できるようになりました。



3 - 7

## 延長短縮

CSBに関連コマンドとトリミングへジャンプするボタンを追加しました。



3 - 8

## 円径変更

作図された円・円弧・塗潰円の大きさを倍率または半径の指定により変更します。



枠選択により、円・円弧・塗潰円を選択し、倍率または半径に数値を入力後右クリックで変更することができます。

円・円弧・塗潰円ボタンにより枠選択要素の指定をします。

## 3 - 9

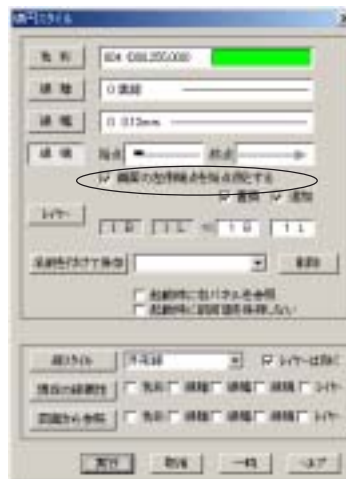
## 線円スタイル2

線円スタイル2コマンドの各種機能を拡張しました。

線円スタイル2コマンドを選択すると、枠選択CSBが表示されます。  
この枠選択CSBの「スタイル」ボタンの機能を拡張し、グループ単位で選択できるようにしました。



線円スタイルダイアログボックスで、線端スタイルを片方に付加する際、要素（線分）のどちらに線端を付加するかが判るようになりました。



3 - 10

## 部分スタイル

現在の右パネルの状態に変更する[線属性]ボタンを追加しました。



線属性ボタンをオンにした場合は、右パネルに現在表示されている線スタイルに変更されます。

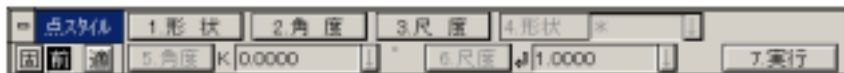
変更後のスタイルを右パネルにセットします。

## 3 - 11

## 点スタイル

色彩の変更機能を追加し、CSBのボタンの配置も変更しました。

【旧バージョンのCSB】



【本バージョン (Ver8) のCSB】





## 第 4 章 建築



## 4 - 1

## 建築スタイル

建築スタイルの設定画面を改造しました。

レイヤ名のチェックボックスを廃止しました。



4 - 2

詳細扉

付枠作図機能を追加しました。

片枠 A/ 片枠 B/ 木片枠 A/ 木片枠 B に付枠作図機能を追加しました。



付枠作図で木製を選択した場合、作図されるハッチングのピッチは、詳細扉 CSB の設定ボタンを右クリックしたときに表示される設定画面の[木製ピッチ]の値で作図されます。



4 - 3

## 詳細窓

詳細窓の配置方法や建具形状を改造しました。

配置方法の決定を従来の偏芯で指定する方法に、外壁からの距離によって指定する方法を追加しました。

設定DLBで配置方法を選択します。



水切作図の寸法を変更しました。(30mm 15mm)

建具形状(引違 2/3/4)を変更しました。

4 - 4

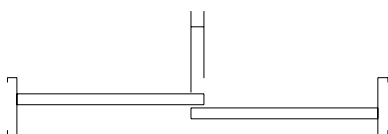
## 詳細戸

戸の設定に「戸重なり」の設定を追加しました。

設定ダイアログボックスの戸の形状設定に戸重なりを追加しました。



戸重なり

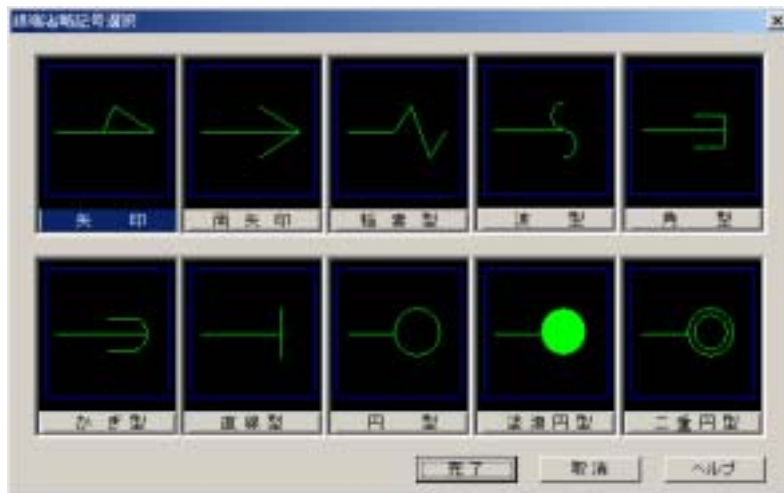


4 - 5

## 矢印記号

記号の種類を追加しました。

円型・塗潰円型・二重円型を追加しました。



4 - 6

## 仕上線

仕上線作図後に検出要素の解除をせず、連続して仕上線を作図できるようにしました。

仕上線の作図が終わっても、検出した要素はまだ検出されまななので、連続して仕上線が作図できます。

検出を解除するには右クリックします。



4 - 7

## 定型ハッチ

ハッチング作図中にESCキーで作図を中止する機能を追加しました。



## 第 5 章 電設

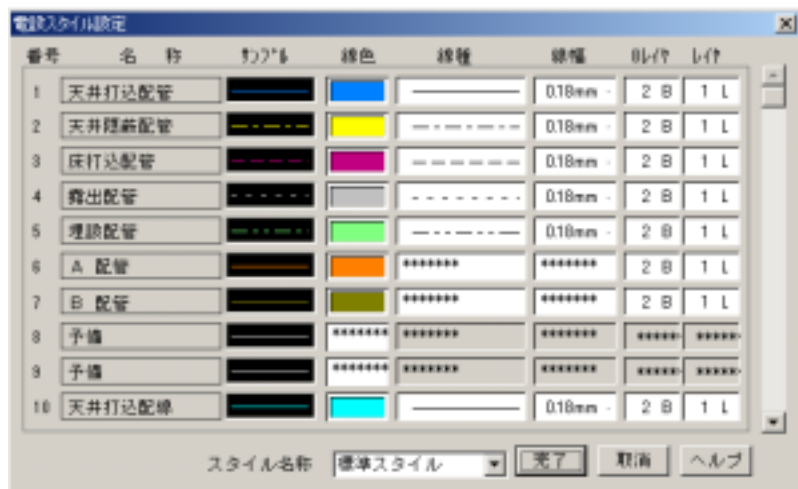


## 5 - 1

## 電設スタイル

電設スタイルの設定画面を改造しました。

レイヤ名のチェックボックスを廃止しました。





## 第6章 作図

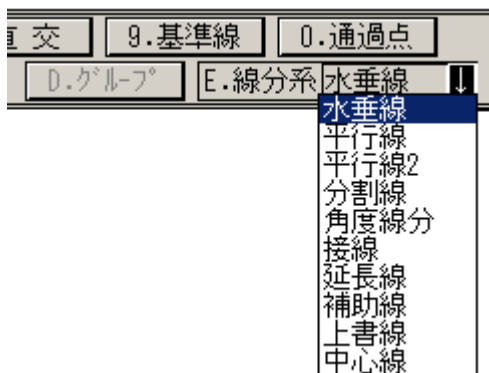
## 6 - 1

## 線分

CSBに関連コマンドとして線分系のコマンド全てを選択できるプルボックスを追加しました。



プルボックスより、目的のコマンドを選択するとその指定したコマンドへジャンプします。



## 6 - 2

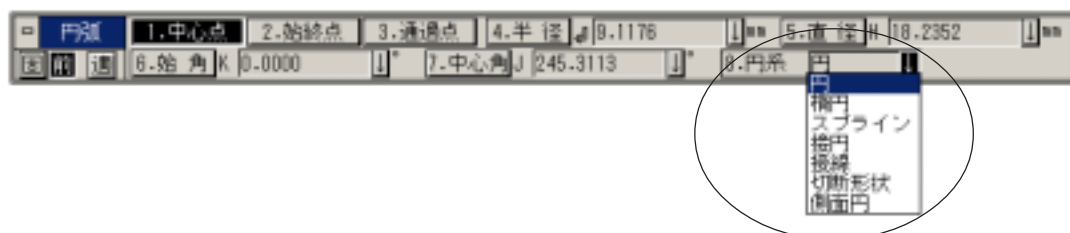
## 円 / 円弧

円 / 円弧コマンドの各種機能を拡張しました。



プルボックスより、目的のコマンドを選択するとその指定したコマンドへジャンプします。

また、設定に中心線のみをグループ化するモードを追加しました。  
この場合、円編集で十字は追従しません。



プルボックスより、目的のコマンドを選択するとその指定したコマンドへジャンプします。

## 6 - 3

## 切断形状

切断形状コマンドを新規登録しました。

パイプなどの切断形状を作図します。

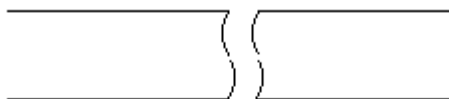
- ・切断面の形状は、6種類のパターンから指定することができます。
- ・挿入モードと切断モードを指定できます。
- ・設定により色彩・線種・線幅・レイヤー・間隔などを登録しておくことができます。



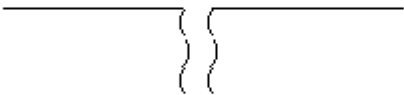
プルボックスより、目的のコマンドを選択するとその指定したコマンドへジャンプします。

**2 R**

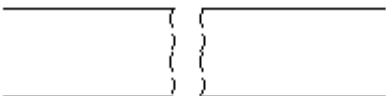
2つの円弧により切断形状を作図します。

**3 R**

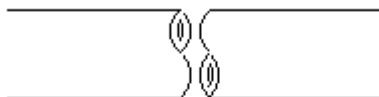
3つの円弧により切断形状を作図します。

**4 R**

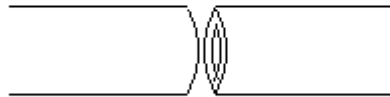
4つの円弧により切断形状を作図します。

**パイプ1**

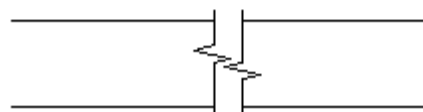
穴付きの2個の円弧により切断形状を作図します。厚みの指定が可能です。

**パイプ2**

穴付きの1個の円弧により切断形状を作図します。厚みの指定が可能です。

**ジグザグ**

ジグザグの形状で切断形状を作図します。



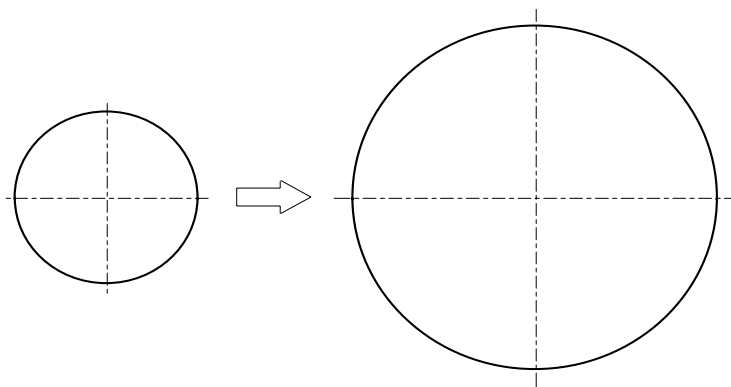
各ボタンの機能や詳しい操作方法はオンラインマニュアルを参照してください。

6 - 4

## 丸面

円を変更する際に、その円に付随している中心線も連動させるようにしました。

以下のように編集することができます。



6 - 5

## トリミング

CSBに関連コマンドとして延長短縮へジャンプするボタンを追加しました。



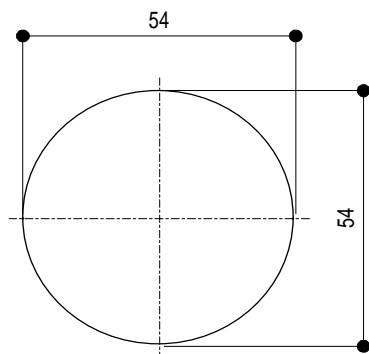
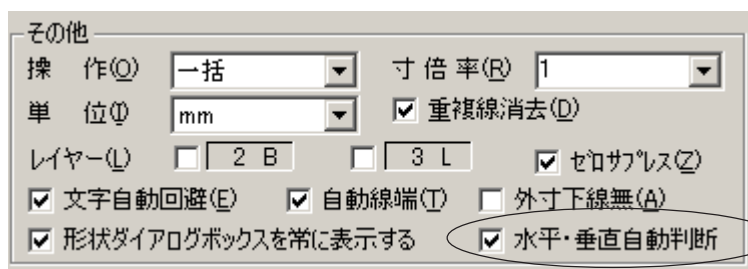
6 - 6

平行寸法

自動モードの場合、円要素を指定することにより、直径を取得し、水平または垂直の寸法を作図します。



設定ダイアログボックスの下図の項目にチェックマークがついている場合にのみ有効です。



CSBの「9.セタリング」機能には対応していません。「6.セタリング」ボタンがオンになった状態で作図を実行すると正しく作図されませんのでご注意ください。

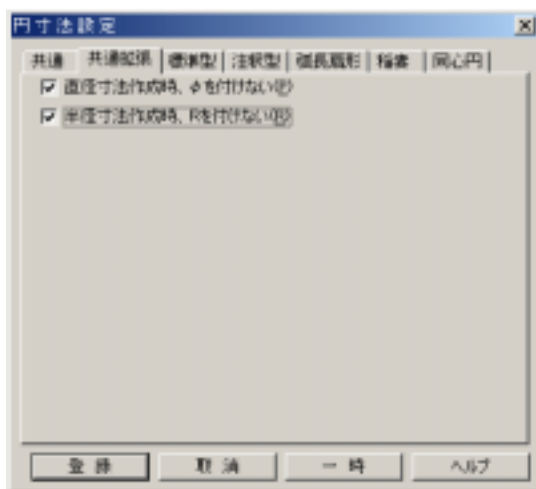


## 6 - 7

## 円寸法

直径寸法で  $\phi$  をつけない設定の場合、また、半径寸法のRをつけない設定の場合でも、従来は注釈型に限り  $\phi$  またはRをつけて作図していました。  
本バージョンより、 $\phi$  またはRをつけるかつけないかの設定ができるようになりました。

設定ダイアログボックスに[共通拡張]のタグが追加されました。

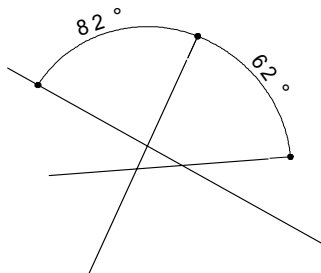


各項目にチェックをつけることで、寸法の形状に関わらず接頭の記号を作図しないモードになります。

6 - 8

## 角度寸法

角度寸法で[1.連続]ボタンが押された場合、交点が一致しない角度線でも、円弧の高さを揃えて作図できるようにしました。



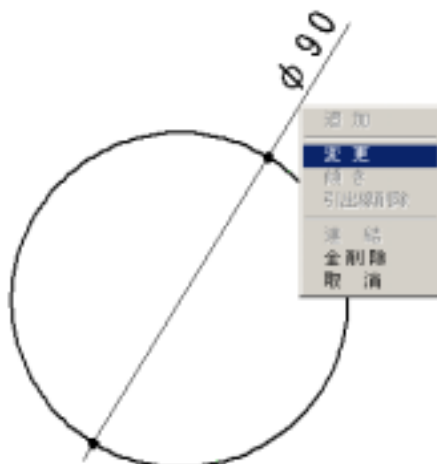
要素を指定するときは必ず反時計回りで指定してください。

## 6 - 9

## 寸法変更

寸法変更コマンドの各機能を拡張しました。

直径・半径寸法の寸法変更で、ポップアップメニューを中止し、ダイレクトに編集ができるようにしました。削除する場合は「DEL」キーで削除します。



従来は直径・半径寸法に対して寸法変更を実行すると、上記のようなポップアップメニューが表示されていましたが、本バージョンより寸法要素を指定しても、ポップアップメニューは表示されません。

寸法要素指定時に、クリックした位置により自動的に判断します。

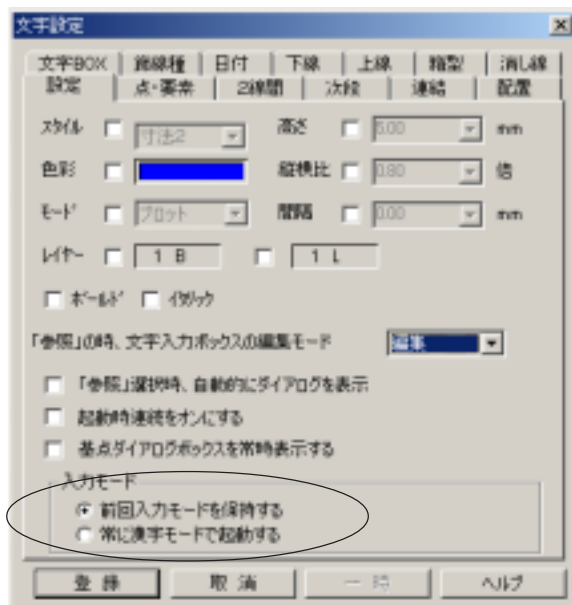
寸法の引出線を検出して作図した角度寸法の寸法変更に対応しました。  
平行寸法 / 設定 / 文字自動回避 OFF で作図した寸法は寸法変更の際も、文字自動回避しないようにしました。

6 - 10

## 文字

文字コマンドの各種機能を拡張しました。

文字コマンドの設定に、入力モードとして前回値と漢字固定を選択できるようにしました。



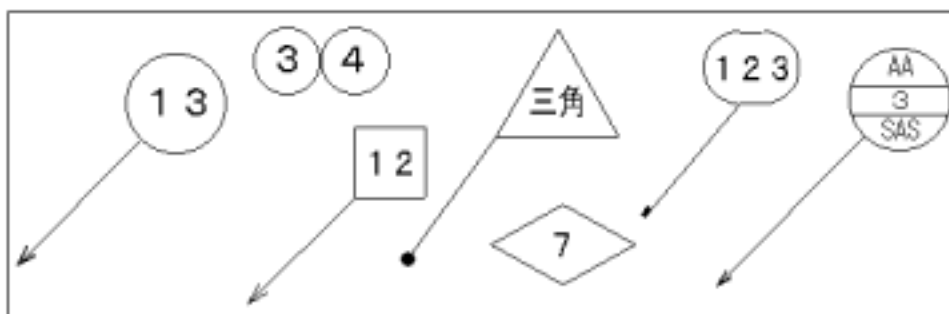
文字列の参照で、他のウィンドウにある文字列も参照の対象にしました。

6 - 11

バルーン

バルーンコマンドを新規追加しました。  
番号付きの円（バルーン）を作図します。

- ・バルーンの形状を指定できます。
- ・接頭 / 接尾語を付加したバルーンを作図できます。
- ・設定によりバルーンを作図する各種属性や、形状のパラメータを登録できます。
- ・バルーンは常にグループで作図されます。



各ボタンの機能や詳しい操作方法はオンラインマニュアルを参照してください。

6 - 12

## 文字列編集

文字列変更ボックスを常に前回位置に表示するようにしました。

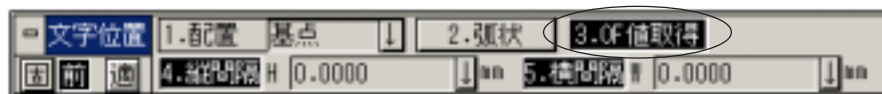
文字列編集する文字をクリックすると現れる文字列変更ボックスの位置の表示位置です。



## 6 - 13

## 文字位置編集

[OF値取得]ボタンを追加し、文字を検出した際作図されたときの縦間隔値、横間隔値の数値を取得するかしないかを設定できるようにしました。



文字を作図したときの文字コマンドの設定ダイアログボックスで設定されていた値を取得します。

## 6 - 14

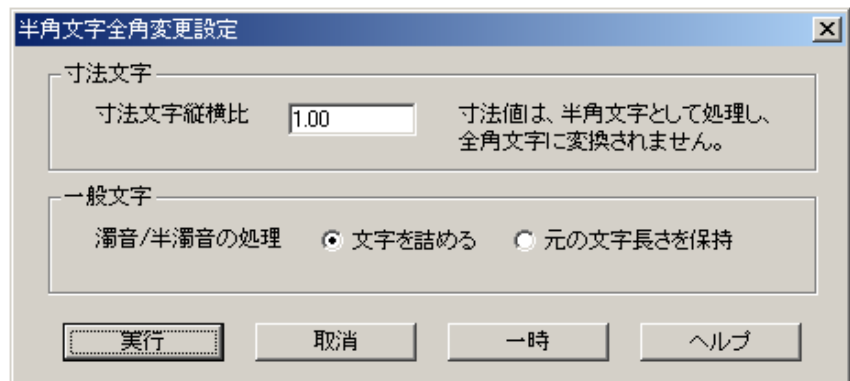
## 半角全角変換

半角で作図された文字を全角に変換します。

本来、半角文字で作図されたデータは、文字の表示モードにより全角で表示させることができます。

半角全角変換コマンドは、半角文字で作図されたデータを「半角文字を半角文字で表示」のモードと同じようにさせるため、全角文字に置き換えるコマンドです。

全角半角変換コマンドにより、文字を調整した後は補助 / システム設定 / 表示により[半角文字を半角文字で表示する]で統一することができます。





6 - 15

## 文字検索

現在表示されているシートから指定文字を検索します。  
発見された文字に対して、何もせず次の文字を検索、別の文字への置き換える等の処置をとることができます。



検索したい文字列を[1. 検文字]に入力し、検索を開始すると、検索された文字列が順次赤く検出されます。  
この文字列を別の文字列に置き換えたい場合は[3. 換文字]に文字列を入力し、[8. 置換]を実行します。



## 第7章 補助

## 7 - 1

## 計測コマンド

計測した値を文字化するとき、単位を表示するかどうかの[単位付加]ボタンを追加しました。  
ボタンを追加したのは以下の計測系コマンドです。

## 【ボタン追加コマンド】

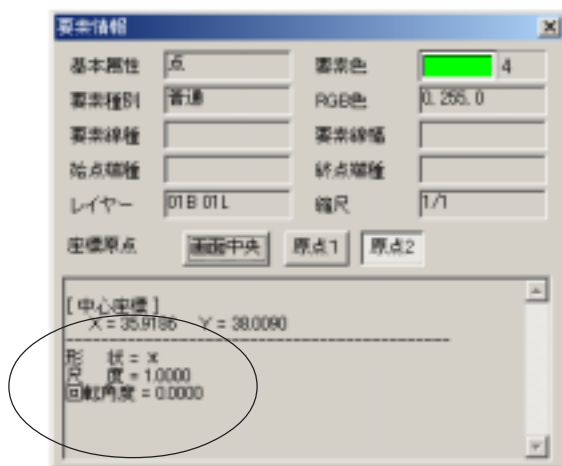
- ・ 距離
- ・ 角度
- ・ 周長
- ・ 面積
- ・ 体積



7 - 2

## 要素計測

点要素を選択した場合の形状をビジュアル表示するように変更しました。



## 7 - 3

## システム設定 / 全般2

ネットワーク上のファイルを開こうとした場合、その図面が既に開かれているかのチェック回数を指定します。

試行回数は本システムでネットワーク上の図面ファイルを開こうとしたとき、その図面がすでに開かれているかどうかのチェック回数です。初期値は10です。

その図面が既に他のユーザーによって開かれていて「編集モード」で開けない場合、参照モードで開くよう確認のメッセージボックスが表示されます。

チェック回数が多いとこの確認メッセージボックスが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

このような場合はチェック回数をもっと少なく設定することにより応答性が改善されます。

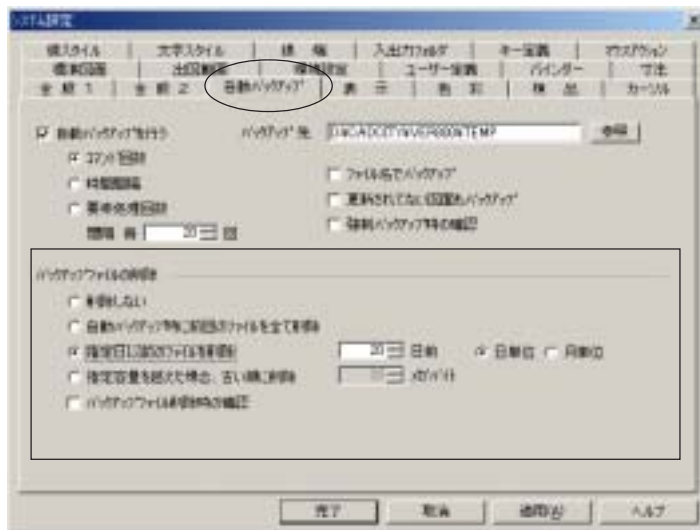


## 7 - 4

## システム設定 / 自動バックアップ

以前に作図されたバックアップファイルを、日時ディスク容量指定で削除できる設定を追加しました。

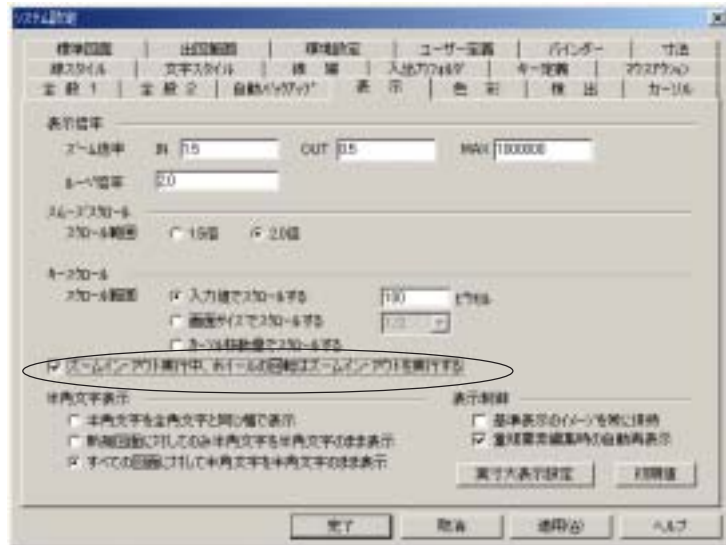
補助 / システム設定のタグに自動バックアップが追加されました。  
従来のバックアップ機能が全般1のタグより移動し、更にバックアップファイルの削除機能が追加されました。



## 7 - 5

## システム設定 / 表示

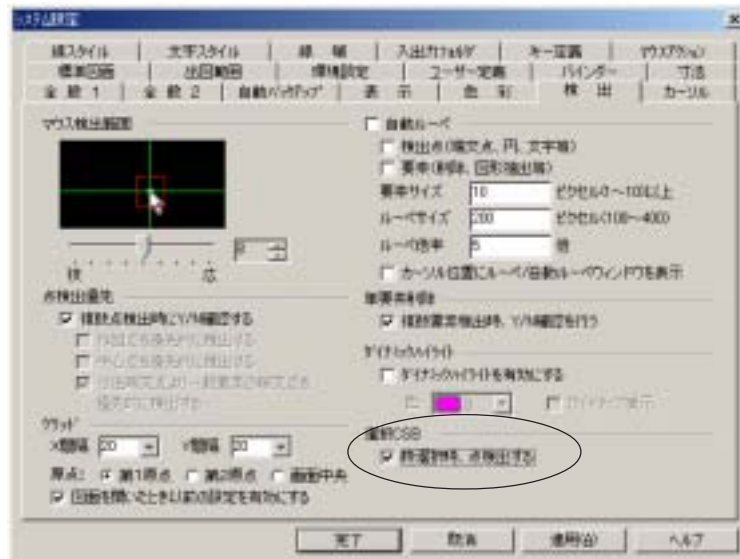
ズームインアウト実行中、マウスホイールの回転機能をズームインアウトに設定する機能を追加しました。



## 7 - 6

## システム設定 / 検出

枠選択で始点・終点の端交点検出をするしないの設定を追加しました。





## 7 - 7

## システム設定 / 標準図面

図面属性のユーザー定義属性名を設定することができます。

- ・ ユーザー定義属性名は、図面単位に保存されます。
- ・ ユーザー定義属性名はファイルに保存されますので、他の環境のその図面を開いても、同じ属性名が表示されます。
- ・ ユーザー定義属性名は、図面属性変更で変更できます。
- ・ ユーザー定義属性のついた図面を旧バージョンで読み込んだ場合、表示されません（保持はしています）。旧バージョンで上書き保存した場合でもユーザー定義属性名は保持されています。対応バージョンで読み込むと、元のままユーザー定義属性名を表示します。



## 7 - 8

## システム設定 / 環境設定

保存した設定項目を呼出す際に、バージョンチェックをするようにしました。  
バージョンが異なる場合、警告ダイアログボックスを表示します。  
そのまま強行して使用することも可能ですが、メニューなどが整合性がとれなくなる場合があります。



## 7 - 9

## システム設定 / 寸法

寸法に関する基本管理設定を追加しました。

作図コマンドの中心線（円、長方形の中心線も含む）や、注釈、バルーン、寸法コマンドに最上位の順位を質得できるようにしました。

作図系コマンドに隠線最上位を付加できることにより、隠線パーツ上に作図された中心線や寸法要素も表示できるようになります。

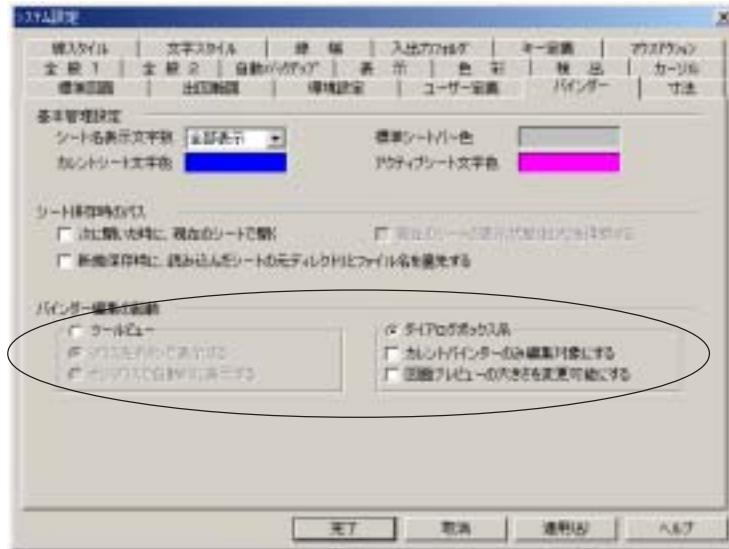
中心線やバルーンなどのコマンドは各コマンドの設定ボタンにより指定しますが、寸法コマンドにおいてはシステム設定 / 寸法で指定をします。



## 7 - 10

## システム設定 / バインダー

新しいツールビュー型と従来のバインダー編集型との切り替えを設定します。  
 ツールビューはランチャー型のウィンドウ左端にマウスがくると自動的に表示するタイプと、  
 左ボタンで任意に起動するタイプを選択できます。



ツールビュー型は画面左側にツールビューが表示されるタイプです。  
 マウス左ボタンで表示する 任意に起動するタイプ  
 オンマウスで自動的に表示する ランチャー型

ダイアログボックス系は旧バージョンと同じ表示方法です。

## 7 - 11

## システム設定 / キー定義

マウスホイールの機能をユーザー設定できるようにしました。

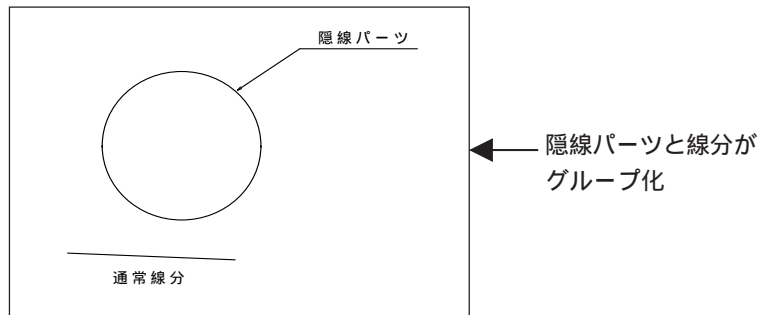


7 - 12

## 隠線パーツ / パーツ解除

他の要素とグループ化された隠線パーツを解除できるようにしました。

旧バージョンでは隠線パーツと通常要素をグループ化した場合、下図のようなメッセージが表示され、パーツ解除ができませんでした。



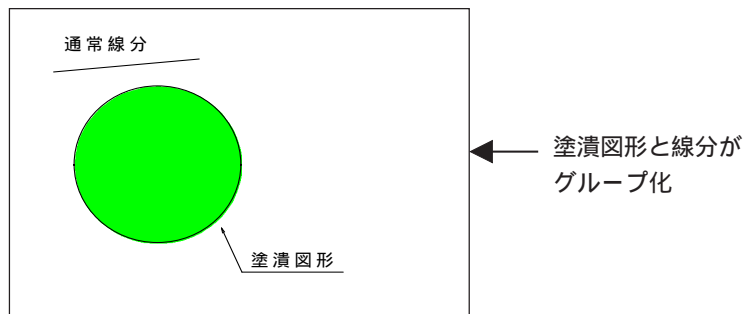
本バージョンよりパーツ解除が可能となりました。

7 - 13

## 塗潰図形 / 図形解除

他の要素とグループ化された塗潰図面を解除できるようにしました。

旧バージョンでは塗潰図形と通常要素をグループ化した場合、下図のようなメッセージが表示され、パーツ解除ができませんでした。



本バージョンより塗潰解除が可能となりました。



## 第 8 章 表示



8 - 1

## ズームインアウト

CTRL + マウスホイールボタンでズームインアウトを行うとき、常にウィンドウの中央だった表示基点をマウス位置に改めました。

8 - 2

## 手のひらスクロール

ルーペウィンドウ内での手のひらスクロールに対応しました。

8 - 3

## ツールビュー

従来のバインダー編集をツールビューで表示することができます。  
従来通りまた、表示方法についてはシステム設定のバインダーを参照してください。